

翻訳業界のリーディングカンパニーが業界基準を築く

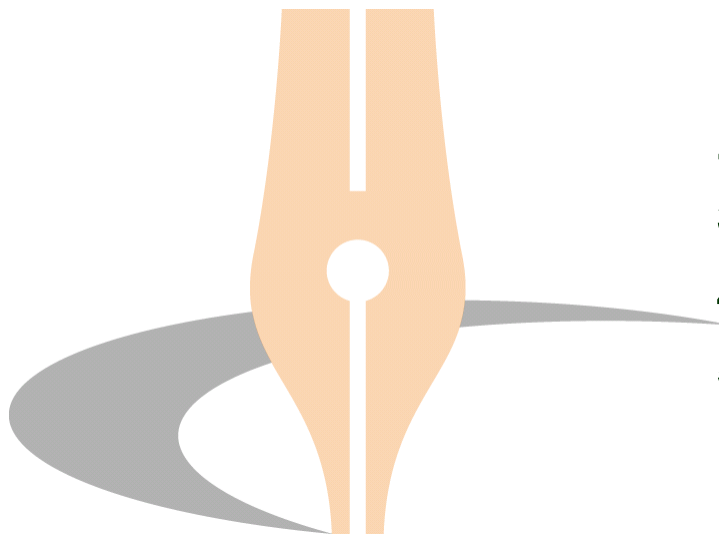
株式会社 翻訳センター 個人投資家向け会社説明会

<http://www.honyakuctr.com>

平成20年3月13日

大証ヘラクレス:2483

I. 事業内容

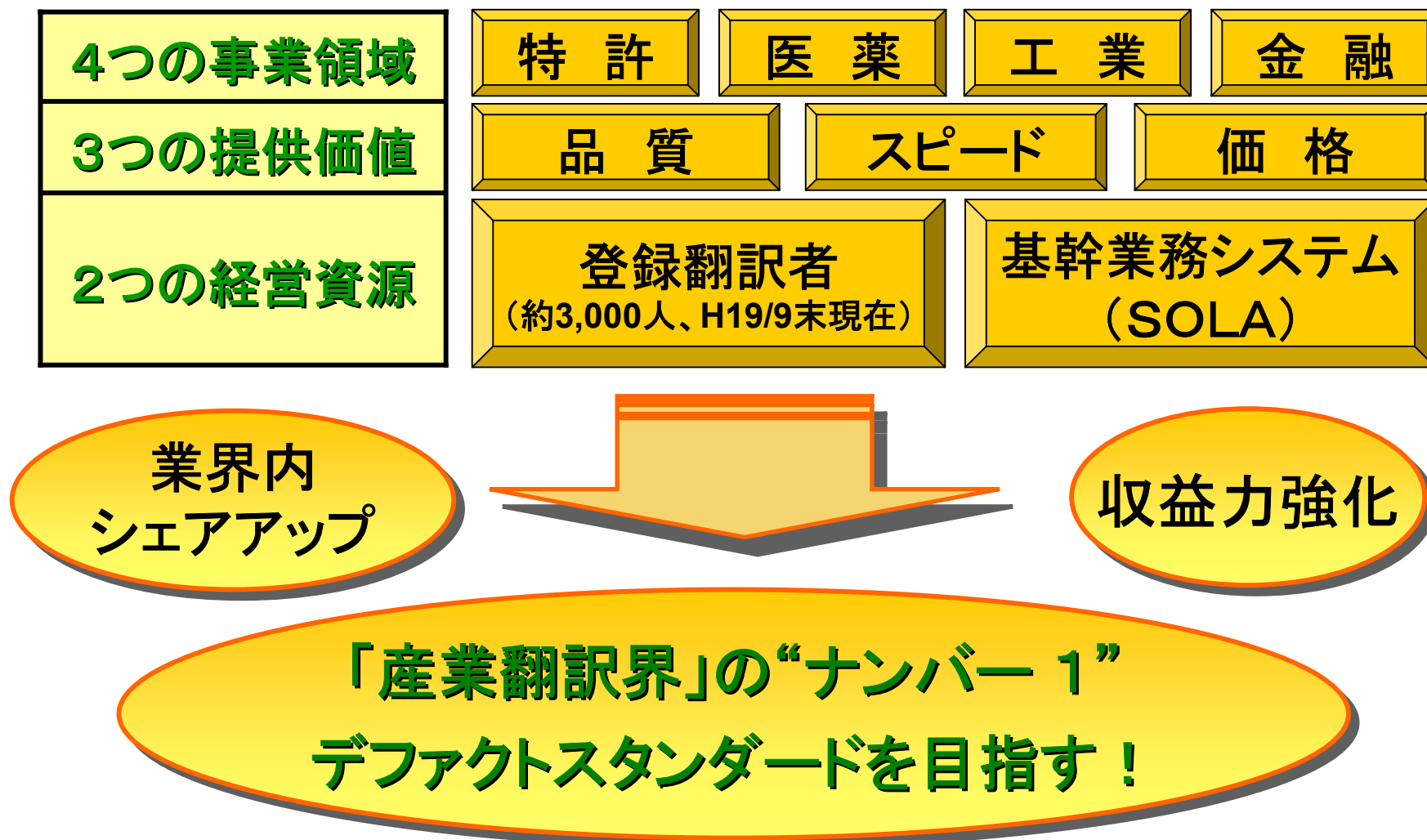


1. 概要
2. ビジネスモデル～コア・コンピタンス
3. 事業の特徴
4. 分野別売上高・登録翻訳者数推移
5. 業界最大規模の翻訳プラットフォーム

1. 概要

| | |
|------|------------------------|
| 会社名 | 株式会社 翻訳センター |
| 代表者 | 東 郁 男 |
| 所在地 | 大阪府大阪市中央区平野町2丁目5番8号 |
| 設 立 | 1986(昭和61)年4月 |
| 事業内容 | 翻訳サービス業 |
| 資本金 | 399,536千円(平成19年12月末現在) |
| 売上高 | 4,006,728千円(平成19年3月期) |
| 事業所 | 大阪・東京・名古屋・米国 |
| 従業員数 | 174人(平成19年3月末現在) |

2. ビジネスモデル ～コア・コンピタンス



3. 事業の特徴

1. 主力事業領域

- 約50ヶ国語に対応
日本語⇄英語が約8割
- 「特許」「医薬」「工業」「金融」の
4分野中心に展開

2. 年間受注件数

- 約30,000件(H19/3期)
- 取引顧客の約8割はリピーター

3. 登録翻訳者

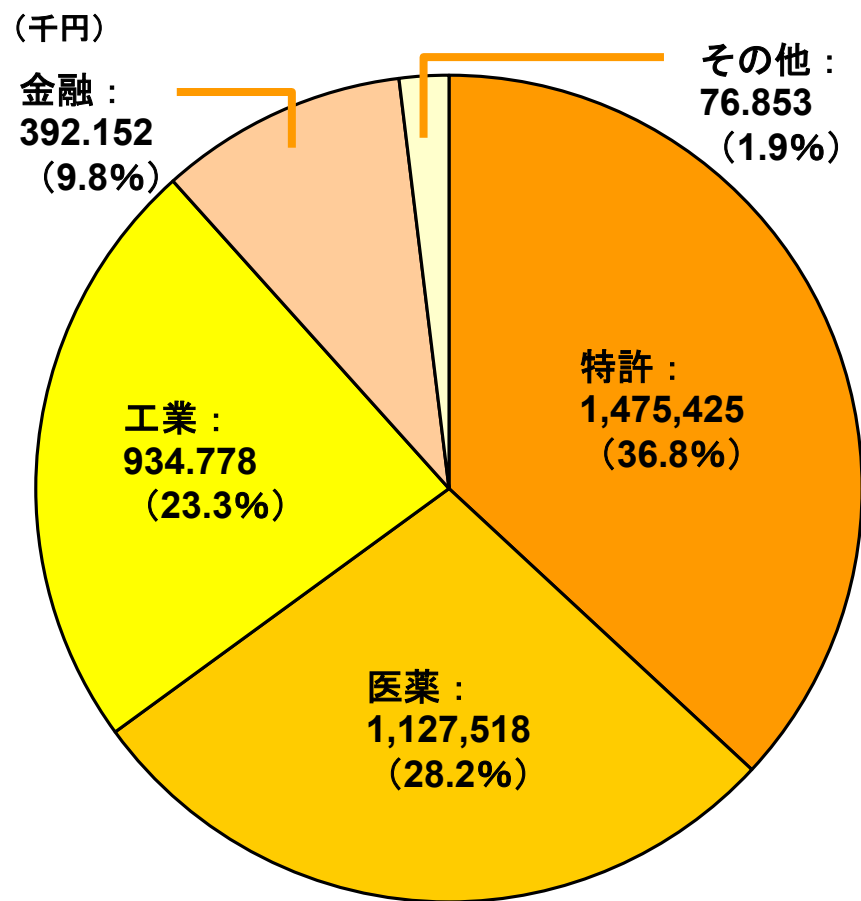
- 約3,000人(H19/9末現在)
質の高い翻訳者を確保
- 専門分野の知識・資格を擁する
 - 語学力、文章力、スピード
 - 機密情報の遵守

4. ビジネスモデル

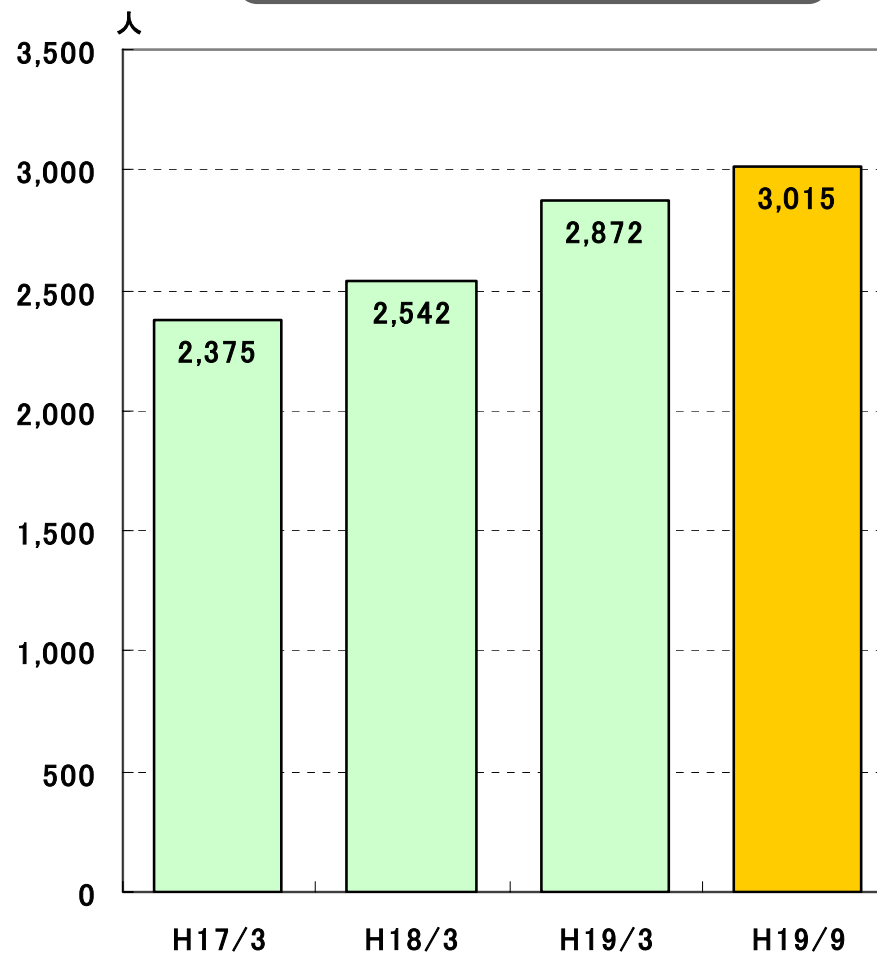
基幹業務システム(SOLA)による
顧客ニーズと翻訳者スキルの
最適なマッチングと業務効率化

4. 分野別売上高・登録翻訳者数推移

分野別売上高(H19/3期)

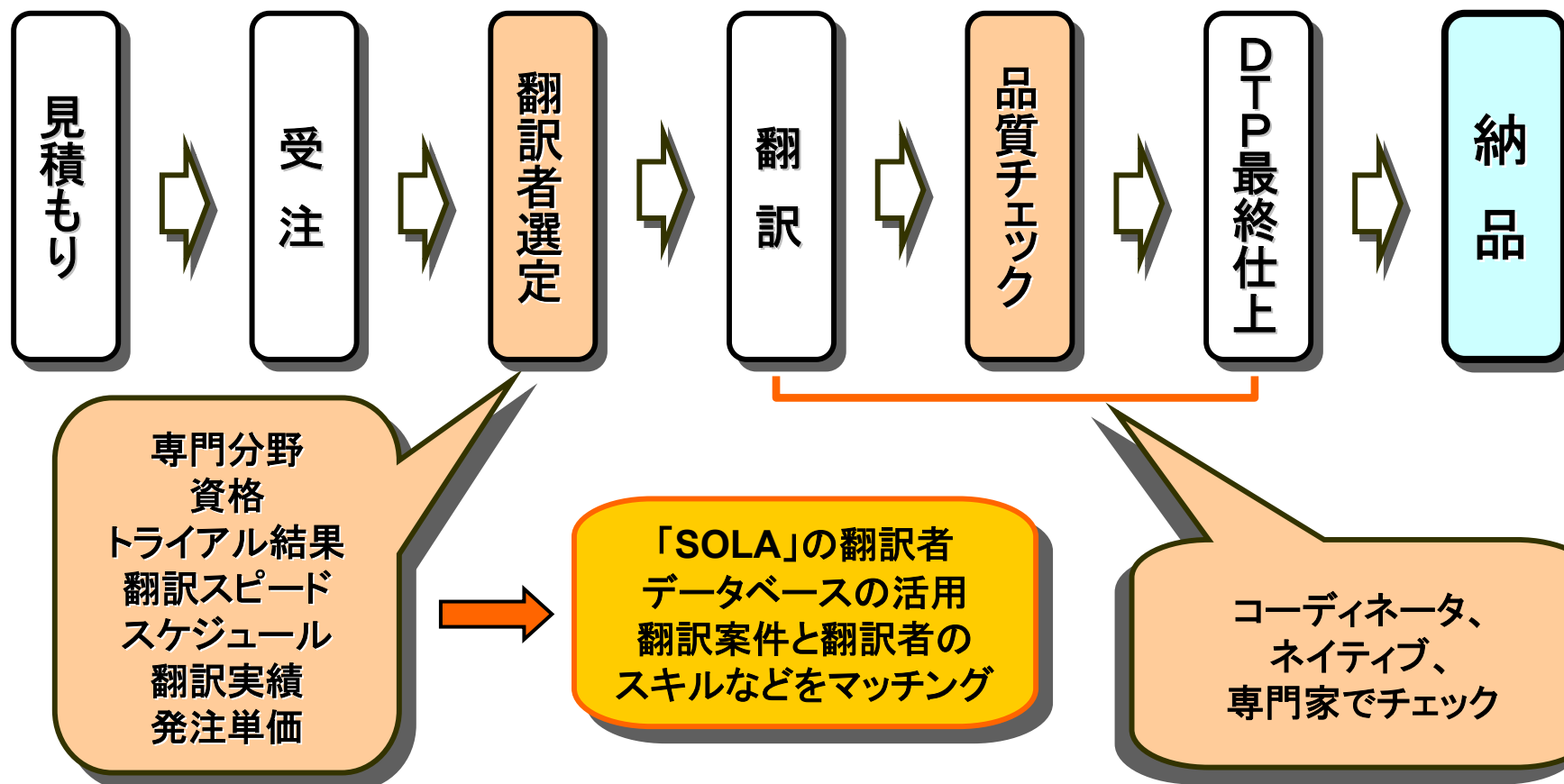


登録翻訳者数の推移

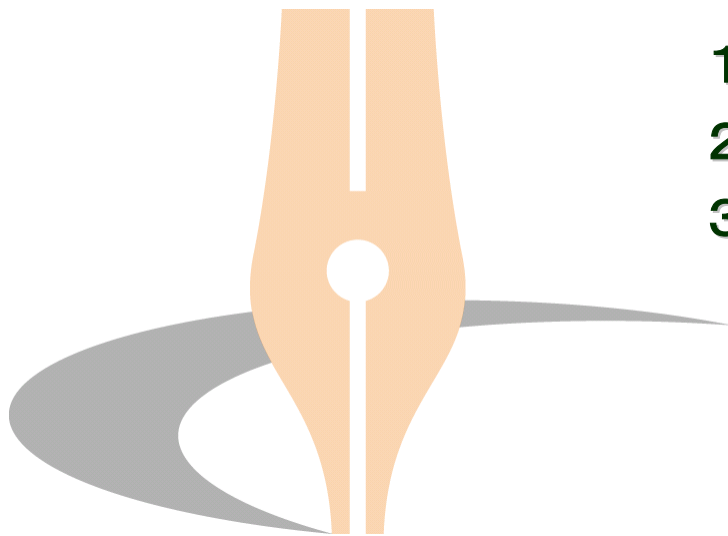


5. 業界最大規模の翻訳プラットフォーム

- 翻訳者の適切な品質評価＝適切な原価管理
- 専門分野ごとにコーディネータが対応



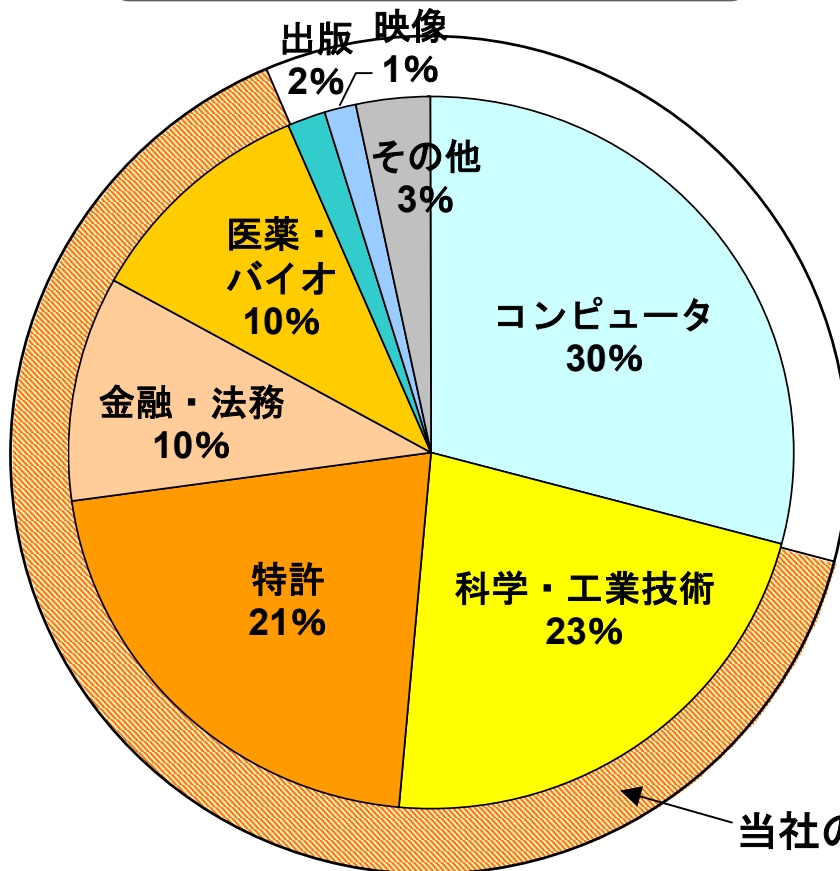
Ⅱ. 今後の経営戦略



1. 当社の強み
2. 既存4分野の強化
3. 新規事業領域の拡大

1. 当社の強み

翻訳の取扱分野調査結果



当社の特徴



出典：日本翻訳連盟「翻訳白書」(H17年度)

2. 既存4分野の強化

特許：国際出願件数増加に対応、出願支援サービス

医薬：外資系を中心としたメガファーマ化に対応

工業：完成車・部品メーカーのグローバル戦略に対応

金融：IR／ディスクロージャー、渉外法務関連資料の受注拡大



さらなる高付加価値サービスの提供へ

3. 新規事業領域の拡大

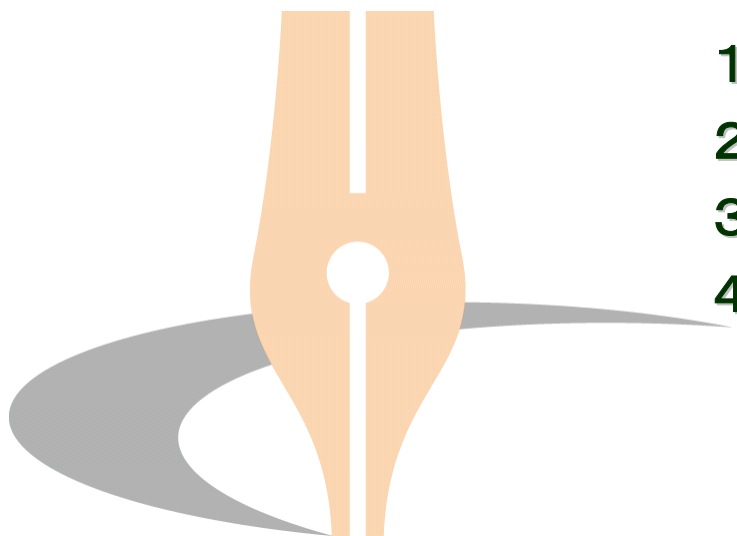
■新規翻訳分野の強化

- メディア・コンテンツ関連 (MANGA、ゲームソフト)

■地域展開

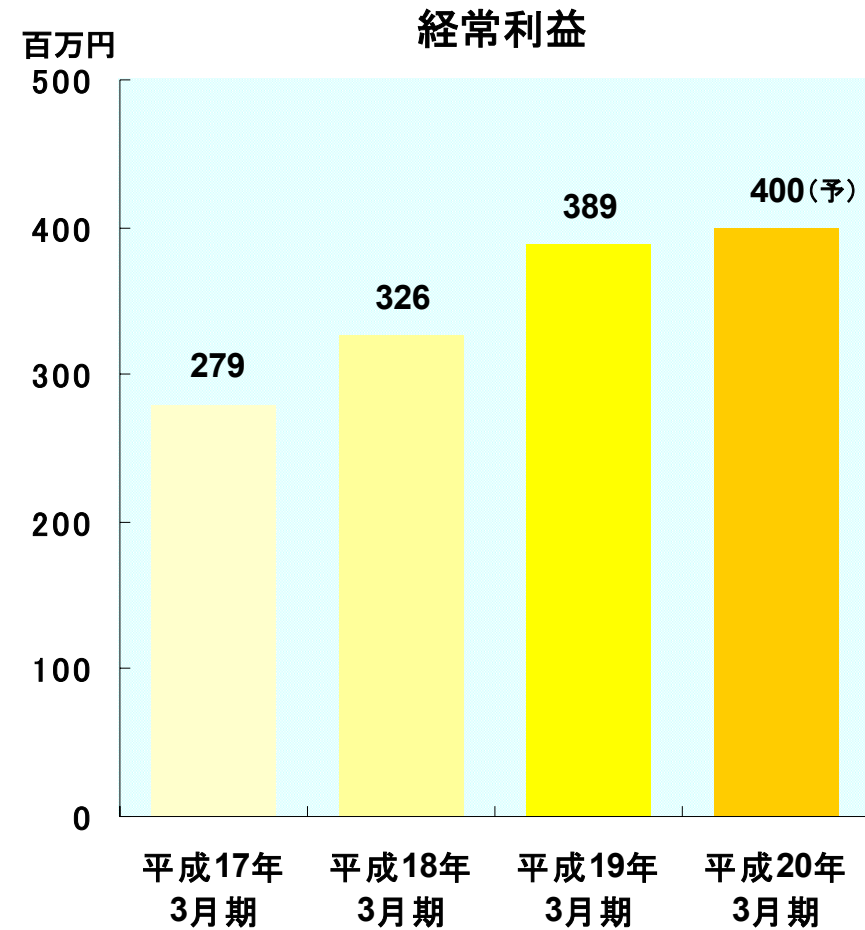
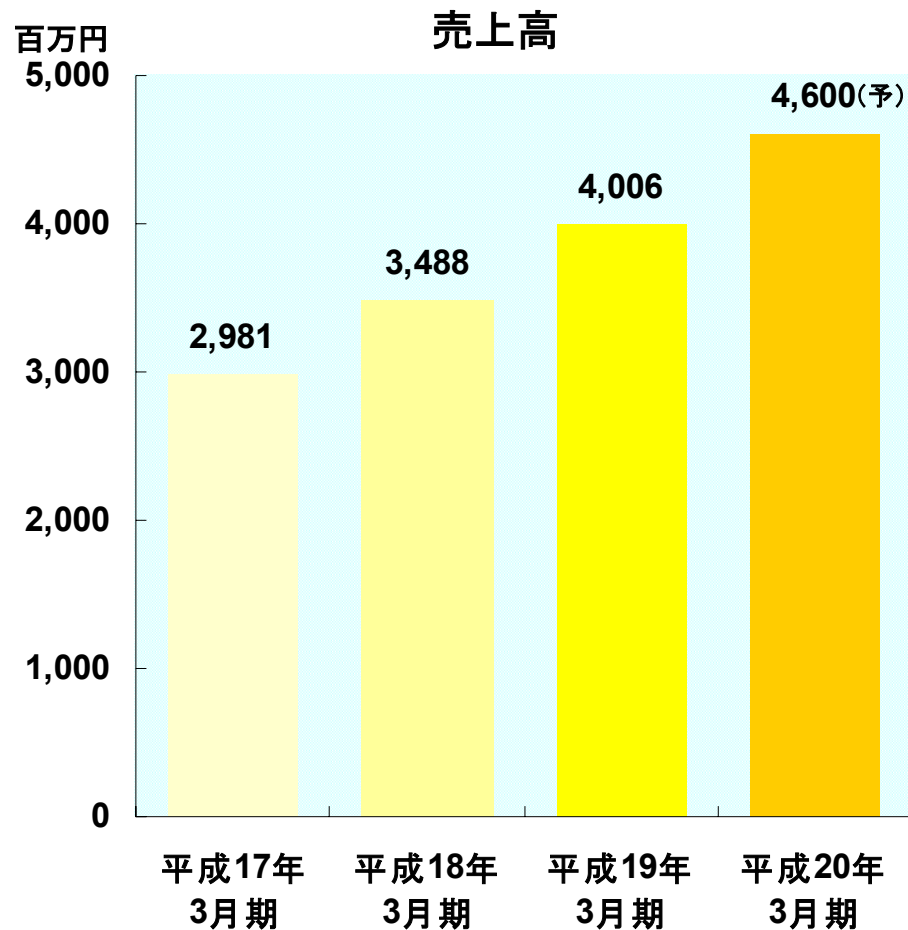
- 北米子会社の設立 (H18年11月)
会社名: HC Language Solutions, Inc.
ターゲット: 既存顧客の米国法人
日本進出の現地企業
- 取引拡大する新興国向け営業地域の展開

Ⅲ. 業績動向・株主還元



1. 業績推移
2. 配当金の推移
3. 業績拡大の方向性
4. 翻訳センターの目指す方向性

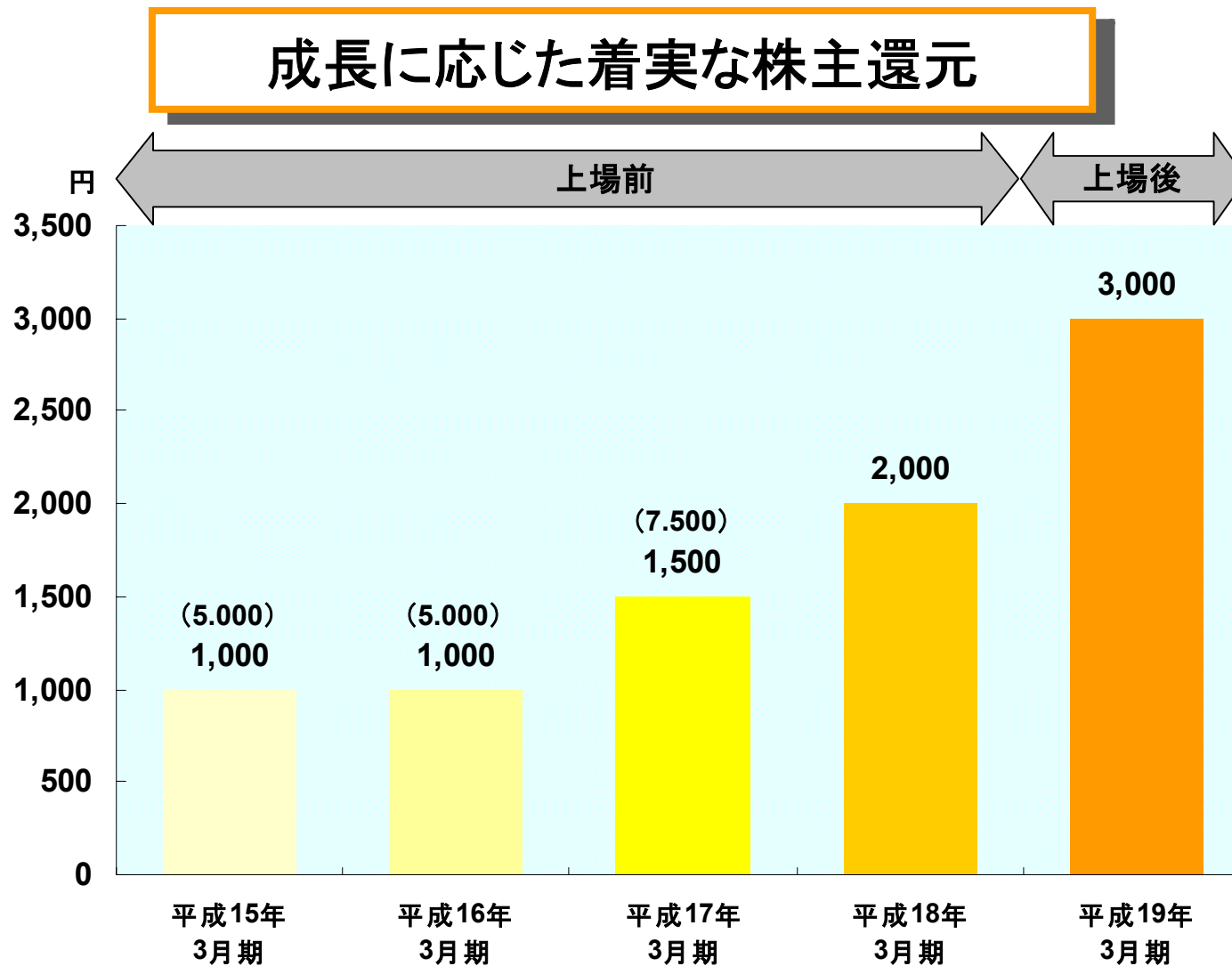
1. 業績推移



■ 一株当たり当期純利益(予想)15,564円

■ 米国子会社の本格稼働による先行投資負担から経常微増益を見込む

2. 配当金の推移



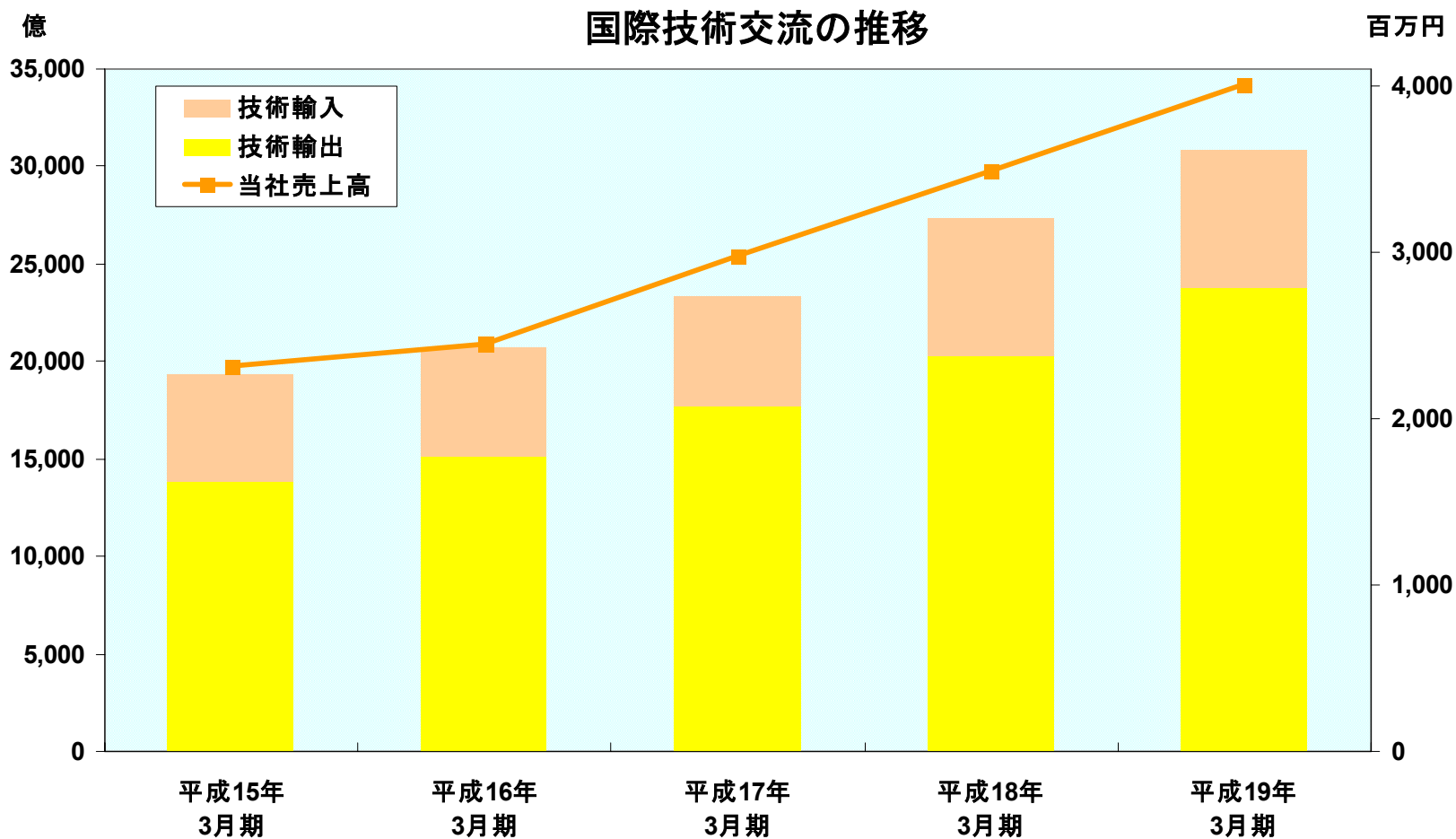
※平成18年3月3日付の株式分割(1株→5株)を考慮し、過去に遡って調整

2. 配当金の推移 ②

平成20年3月期の一株当たり配当金
3,000円→3,500円に増配予定

3. 業務拡大の方向性

世界の翻訳市場(年率7.5%)を上回る持続的な成長を目指す



出典:総務省「科学技術研究調査報告」(H18年度)

4. 翻訳センターの目指す方向性

